

支援プログラム

事業所名

発達支援教室 わかくさ大庄

作成日

令和7 年

2 月

14 日

法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します	
支援方針		クラス分けや集団活動など、その時々にあった環境で療育を行っております。楽しく遊ぶ事・集団活動などを通じ、コミュニケーション能力や表現力を伸ばすことに重点を置いています。ここにあった課題を提供し知識の幅を広げるなど、将来必要となる様々な能力の向上を目指しています。	
クラス		小集団療育（2クラス）	
営業時間		学校休校日：11時00分～17時00分／学校開校日：14時00分～17時00分	
送迎		あり	
		支 援 内 容	
本人支援	健康・生活	心の安定を図り落ち着いた生活ができる 本人の気持ちに寄り添い、状況に応じて個人の特性に合わせた対応で安定を図る	
	運動・感覚	将来に向け身辺動作ができるようになる ・制作やクッキングなどを通じ、必要な動作を身に付ける経験を重ねる ・公園遊びやリズム遊びなどで体幹を鍛える	
	認知・行動	安心できる環境の中で自分で行動することができる エリア分けやスケジュール表、視覚支援カードで過ごしやすい環境を提供し、職員からの声掛けなどで安心して行動できる環境を作る	
	言語 コミュニケーション	設定活動や自由遊びを通して自分なりの他者との関わり方を身に付ける。 ・本人の気持ちを汲み取り、本人にあった方法で思いを伝えられるように一緒に考える ・個別課題などで言葉を知り、状況に合わせた表現を学ぶ	
	人間関係 社会性	集団生活に馴染めるようルールを知り身に付ける。 ・始めの会などの活動に参加できるよう、個々に合わせ声掛けや視覚支援などを行う ・わかくさのルールを知ること社会のルールを学ぶ	
家族支援		基本的に連絡帳と送迎時にその日あった出来事等をご家族に連絡を行う。面談時には日々の活動の詳しい内容や他事業所や学校などの情報を共有し、本児の理解を深める場とする。	
移行支援		必要に応じて、各関係機関と連携し、本児の活動の支援を行えるようにする。	
地域支援・地域連携		学校・他事業所・相談支援事業所等と日々の様子や支援内容を共有し、連携を図る。	
職員の質の向上		法人・外部主催・社内研修を受講し研修内容を職員間で共有する ケース会議を開いたり、気付いた時に話し合うなどを行う	主な行事など 季節ごとのイベント（ハロウィン・クリスマスなど） 行事（初詣・節分・プールなど）